ここまでの活動を整理して見える化しました

第1回ワークショップ「新しい発見」で出た内容を整理

第1回ワークショップ
2020.10.17 午前/午後2回開催

整理内容１

- 昔は日ノ出町周辺は官庁街、青木町末広町金山町御幸町周辺は歓楽街
- 八百屋等　歩いていける店がない。
- 昔は高齢者にとって集う喫茶店が多くあったが今は無い。
- 定食を食べられる店が少ない。
  （出前できる店が無くなった）
  ⟹若い世代の声
- 高齢者特に女性にとって下着や普段着を買える店がない。
- 店舗があった場所が空き地になりミニ開発住宅地が増えてくると魅力の無い街になる。
- 生活する上で特に困る事はない。不便はない。
  ⟹若い世代の声
- 住んでいて不便さを感じない。銭湯はあるとうれしい。
  ⟹若い世代の声
- 世代によって行く店が違う。若い世代は持ち帰りができるテイクアウトを好む。
- 空き家・空き店舗が増えている。

整理内容２

- 住む人が増えるための方策　それが空き家の活用
- 空き家を貸すことへの拒絶感がある。
- 若い人は借りたいのに空き家物件情報が少ない。
- 空き店舗の活用
- 若い人とマッチングさせるビジョンを立てる。
- 空き家を活かす仕組みをつくる。
- ものづくり　職住近接　住まいと工房～Ishoken卒業生など若手工芸家
- ものづくりが住みやすい街。陶磁器だけでなくいろいろな作家を対象にする。
- Ishoken研究生に開放し、売る場所の提供。卒業したら、次の在校生に渡す。
- 中高生が主体となって運営できる店舗の開発
- テイクアウトで始められるトライ店舗でお客がついたら実店舗へと段階を踏めるような場所をつくる～仕組みづくり
  (珈琲屋、キッチンカー、テイクアウト店舗)

整理内容3

- 生活の視点、福祉の視点、教育（子育て）の視点を別々に考える事はできない。
- 人が住む街、人が買い物で歩く街のコンセプトは大切である。
- 生活して集まれる場所づくりが必要である。
- 子育て世代に魅力がある街
  ⟹子ども情報センターの存在。
- 中高生が関われる場所。高校生が休憩できる場所。
- 人が生活できる場所。
- 新しく住む人と古くから住む人とのコンセンサスがとれるシステムをつくることが必要。
- 新しく住む人も街の一員になってほしい。
- 車が通行する道ではなく、人が安心して歩ける優しい道づくり
- 高齢者が交流できる集える仕組みづくり

第1回ワークショップ内容を読み解き、現状についての意見交換へ

『TAJIMI 川南のあしたを創る　FROM2021会議』グループワークで出た内容の整理

にぎわい創り

にぎわい（施設・場所）
ドッグカフェ　ドッグラン
マルシェ
気軽に食事出来る店
食べ歩き　　食べる場所（公園）
スイーツのお店　お花屋さん　駄菓子屋さん
ポケモンセンター　アップルストア
テラス席の有るカフェ
銀座通り入り口やオリベストリートに買い食い出来る店
食事の出来る店
博物館（郷土資料館・文化財保護センター）
動物園　昆虫・植物園
国宝が見られる美術館
名画座
ラーメン屋～次郎系
集客要素への食物屋、食材店

にぎわい（子ども、子育て世代、若い世代）
高校生カフェ
コーヒースタンドで勉強が出来るカフェ
子ども食堂
子育てエリア
プレイパーク　（川崎）
１日遊べるエリア
（子連れがゆっくり休憩できたり集まれる場所が必須）
→子ども情報センター

観光・にぎわい(仕掛け)
回遊型　滞在型の観光メニュー整備
また来たいと思ってもらえる工夫　リピーター
人が安心して歩ける
通り毎に、飲食店、陶器、ファッションとか特徴づける
隠れミッキーみたいな見つけると幸せになな気持ちになれる仕掛け
人が集まる場所が人を引き付ける。
観光地としてオリベストリートの始点と終点として、是非（とっておき）
なものを創る
歩行者天国
うながっぱバスの利便性
電動レンタサイクル

にぎわい(イベント)
クラシックカー
ポケモンイベント　（参考：美濃市）
ワンワンマルシェ
オリベストリート周辺　蔵屋さんめぐり等
高齢者にも馴染みやすいイベント
保護犬レンタル

まち創り

空き家・空き地の活用/人の誘導
空き家・空き地の利用
クラフトマンの店として空き家を活用する
意匠研の人のシェアハウス
意匠研のＰＲ　移住に繋がるベース作り
起業家誘致、支援
産文を出た人の受皿（インキュベーター）
起業家誘致、支援
シェアハウス（Wi-Fi完備）
ゲストハウス

まちづくり(ハード)
きれいなトイレ　タイル装飾
水飲み場
シンボルタワー
スケートボードが出来る場所
公園、駐車場の整備
虎渓用水広場みたいなお洒落な公園
道の駅
市役所が移転したら・・・
跡地は公園が良い
屋台村のようなミニアウトレットモール　期間出店
市役所跡地は公園、広場が良い

銀座通り
アーケードの有効利用（昭和レトロ・イベント・音楽他）
アーケード街にアンテナショップや若者がやりたい店
住居と入り口を別にする
アーケード商店街全体でスーパーみたいになると良い。
雨が降っても傘なしでお買い物出来る
家賃が安い→レトロの魅力を残したい→銀座アーケード
花山さんの構想を進めて欲しい　クラフトマン通り
銀座通りに人が通るようなまちづくり　住居との配置
シャッターアート
銀座通りを歩きたくなるよう通りに特色を
銀座アーケード大家さんに貸してもらう交渉

生活
スーパー
コンビニ

意見

市役所の移転は絶対反対です
毎年人口が４００人ずつ減っている事にどう対処するのか？
箱物ばかり造ってどうするのか？
お店が無くなったのは皆が使わないから
市役所の各課　ＰＲや印刷物が多すぎて無駄に思える
観光地として賑わいを目指すなら地元の理解が必要。
地元へのＰＲが足りない。
毎日歩いているがどんな店があるか知らない
難民を引受け日本ガイシ等で働いてもらう。人口増加につながる。
何故シャッター街になったのか訳が知りたい。
地主が手放さない理由が知りたい。
駅からのアプローチが必要なので市も交える必要
イベント時駐車場問題（駐車場のキャパ）
イベントの継続性
転入者が町内会に入っていない
少子高齢化と言いますが、この地区は老人の福祉に力を入れて欲しいです。
高齢化
公園が少ない。今は子どもより高齢者が利用できるよう配慮して欲しい。
陶磁器一辺倒には疑問があります。
オリベストリートに有る店の入りやすさ。
オリベリストリートの集客は増えてるように見えるが消費はどうなのか？
７区に公民館がない。
人が集まる場例えば空き店舗　産文
昼人口も夜人口も少ない
子どもが安心して遊べる場所が無い
店舗がお洒落すぎて子連れには敷居が高い

その他
時代を読む　→　高いけれど付加価値をつけるお店(例まちの電気屋)
地元での買い物
情報の収集
人が集まる場所が人を引き付ける。
つなげる　→　店として入りたい　→　人がいる
出店者を応援
まち（川南）の個性(歴史・文化)の市民への浸透
子どもと大人が繋がれる場所
そこに住んでる人に何が欲しいか聞く